

学校だより

プラタナス



令和2年9月4日(金)

市川市立市川小学校
No.21 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



もうひとがんばり！だからみんなで確認しましょう

新型コロナウイルス感染症は、もう対岸の火事ではありません。児童や保護者、教職員がいつ感染しても不思議ではない状況です。「コロナいじめ」という言葉も聞かれますが、不安で衝動的な行動が触発されることがあります。だからこそ、大人も子供も「正しく恐れて、正しく備える」ことが大切です。ぜひ、家庭や放課後の過ごし方を含めて話題にしてください。以下の点について再確認です。共通認識のもと取り組んでいきたいと思います。

【日常的な健康観察と検温】

- * 子供も保護者も教職員も、体調がすぐれない場合は登校・出勤等を控えるようにします。
- * 教職員も自宅での検温とは別に、出勤して職員室で全員が検温をして万全を期しています。

【マスクの着用】

- * 学校でマスクを着用する効果は、「飛沫抑制」にあります。学校ではうつらない予防以上に、うつさない予防、つまり飛沫防止を最優先に考え、マスクを着用して口と鼻を覆います。
- * 口だけ覆って鼻を隠さない子、サイズ等が合わなくて口や鼻の脇から空気が出入りしてしまう子を見かけます。正しく着用してこそ効果があることを理解できるように指導しています。
- * マスクの着脱は、熱中症予防だけでなく個々の児童の事情に応じて配慮をします。一律に着用を促すものではありません。マスクを外した際の約束事も指導しています。

【感染経路を断ち、抵抗力を高める生活】

- * 石鹸による手洗いや換気を徹底します。清潔なハンカチやタオル類を複数枚用意していることも大事です。
- * 十分な休養と睡眠、バランスのとれた食事など基本的な生活習慣を整えることも有効です。

【連絡体制】

- * 児童本人はもとより、同居する家族が新型コロナウイルスに感染した、あるいは濃厚接触者に特定された場合は、速やかに学校に連絡してください。
- * 濃厚接触者ではないが、医師や保健所の指示でPCR検査を受ける場合も知らせてください。
- * 上述した状況に学校職員がある場合も、関係する保護者の方に連絡差し上げます。
- * 検査陽性の場合には、学校医や教育委員会等と連携して、校内保健管理体制を整備します。
- * 心配なことを気軽に相談して、安心できる体制・環境を築きます。

【熱中症対策】

- * 首の後ろなどを冷やす冷却タオルや保冷剤を上手に使用している姿を見かけます。また、飲み物を多めに用意したり日傘を差して登下校したりする児童もいます。
- * 暑さ指数が31度以上の時は、校庭や体育館での運動・遊びを禁止しています。屋外での学習活動も状況に応じて制限を加えたり控えたりするなどして対応しています。

7月の学校評価（保護者アンケート）における声



学校評価の際に、自由筆記欄にご記載いただいたご意見や感想をまとめました。併せて、説明や解説による回答もありますのでご一読ください。

感謝のお言葉もたくさん目にしました。ありがたい限りです。皆様方の励ましや建設的なご意見、現状における課題などを分析して、これまでの取り組みを丁寧に見直すとともに今年度後半、あるいは来年度に向けた改善のための良い機会といたします。

なお、今回の結果については、学校運営協議会の皆様にも見ていただき、ご意見を頂戴します。

以下は、本日 9/4 配付した紙面をご覧ください。